



ゆく秋にふり返る夏の記憶

いつの間にか朝夕に秋の気配を感じる季節になりました。思えば9月はあっという間に過ぎたような気がします。本校では今月、新しい取り組みとして「夏休みの自由研究」の展示を行いました。これまでも、生徒達が夏休み中にいろいろな教科を選んで作品を作ったり、研究をまとめたりしたものの中から優秀な作品について表彰してきましたが、今年から金賞作品を校長室前に展示して、期間中、生徒達が作品を見ることができるようになりました。

特に優秀な作品については、学校を代表して、作品展やコンクール等に出品しているため、実物を展示できないので、写真に撮って展示してあります。中には、すでに船橋市から表彰の通知がきたものもありますが、いずれ学校便り等でお伝えする予定です。

校長室前のガラスケースのところに展示してあるので、「これすごいね!」「誰が作ったの?」などと生徒が話しているのが聞こえることもありました。おそらく、教室に戻ってからは、作品を制作した友達に対して率直に賞賛の言葉を投げかけてくれていた人も多かったと思います。そして、友達の思いもよらない才能に驚いたり、刺激を受けたりすることで、今度は自分もやってみよう、と思ってくれたらいいなあ、と思っています。



今年の体育祭で得たものとは?

今年の体育祭は、朝からの雨で開会式を遅らせはしましたが、すぐに雨も上がり、涼しい気候の中での体育祭となりました。今回、開会式の最初の各学年実行委員の「〇年生、集合!」のかけ声に、一斉に「オー!!」と大きな声で応えて、走ってきて整列したときのそれぞれの生徒の真剣な表情に、まずは胸が熱くなりました。そして、開会式で実行委員が見せてくれた独特の緊張感の中での堂々とした姿が、その後の体育祭全体の雰囲気を作る大きな要因となったと思います。

すべての競技を終えた後、閉会式では、実行委員長の山本竜馬くんが全校生徒に向けて、「どの学年も、それぞれが精一杯頑張ってくれたからこそいい体育祭ができたのだと思う。来年は2年生を中心にさらにいい体育祭を作ってくれると信じている。」と話しました。

生徒達は3年生を中心に、この体育祭を「真剣に楽しむ」ことができたことで、また一つ大きく成長したと思います。閉会式の後に記念撮影をしていた生徒達は最高の笑顔でした。

「楽しむ」とは、自分の力を出し切った者だけが味わえる「やり遂げた満足感」のことなのでしょ。お互いの頑張りをたたえ合い、喜び合い、それをみんなで共有することで、また次のステージへと進んでいける、そんな体育祭をやり遂げてくれた生徒達に心から感謝しています。(そして、生徒はみんな「次は〇〇〇だ!」と思っています。)